

みえないものをみるために。

FURUNOは創業以来、挑み続けてきました。
徹底して現場を見つめ、そこに見合う技術で問題を解決する。
世界初の魚群探知機の実用化も、この姿勢から生まれました。

FURUNOが提供するものは、ただ可視化するための製品ではありません。

今まで見えなかったものが見えるようになると、
今まで見えなかった可能性が見えてくる。
それは、機器を使う人だけでなく、
その先にいる多くの人々の生活までも変えていく。

FURUNOはそこで暮らす人々の目線に立つことで、
そこにある課題を、今まで見えなかった可能性を見つけ出していく。

私たちはこれからも、人々の暮らしに寄り添いながら、
見えないものとの出会いを創り続けていきます。

CHALLENGE the INVISIBLE.

CONTENTS

- 02 TOP MESSAGE
フルノグループが目指す姿とSDGsのつながり
- 03 経営ビジョン／中期経営計画
- 05 FURUNOの歩み
- 07 FURUNO 事業フィールド I 船用事業
- 13 FURUNO 事業フィールド II 産業用事業
- 17 CSR活動〈品質・安全への取り組み〉
- 19 〈従業員への取り組み〉
- 21 〈環境保全への取り組み〉
- 22 〈コーポレート・ガバナンス〉
- 23 〈コンプライアンス／リスクマネジメント〉
- 24 財務ハイライト・5年間の主要財務・非財務データ
- 25 グローバルネットワーク／企業情報

■ 編集方針

本レポートは、ステークホルダーの皆さまにフルノグループの事業活動を分かりやすくご紹介するために、会社案内とCSR報告を統合して編集しています。CSR報告では品質・人財・環境・ガバナンスの構成でまとめました。

■ 対象期間

2020年3月1日～2021年2月28日
(一部2021年3月以降も含む)

■ 対象範囲

古野電気の活動を中心に、グループ会社の活動を含んだ内容としています。

TOP MESSAGE

顧客提供価値と企業価値向上の両立で
地域・社会の持続的発展に貢献してまいります。

フルノグループは、2030年までに目指す姿として、「事業ビジョン」と「人財・企業風土ビジョン」で構成するグローバルビジョン「NAVI NEXT 2030」(ナビ ネクスト ニイマルサンマル)を2018年に策定しました。

事業ビジョンは、「安全安心・快適、人と環境に優しい社会・航海の実現」。「安全安心」「環境」のみならず、「人の感動と快適な社会の創造」を目指します。また、人財・企業風土ビジョンでは、「GLOBALIZATION」と「SPEED」によって、新たな「VALUE」を「ともに創る」ことを謳い、「VALUE through GLOBALIZATION and SPEED」としました。

当社は、この経営ビジョンの実現に向けた諸活動を展開することで、顧客提供価値と企業価値の両面を持続的かつ発展的に高めてまいります。

フルノグループが目指す姿とSDGsのつながり

「会社存立の原点は社会の役に立つことである」を経営理念に、フルノはこれまでも持続可能な社会を築くための事業を展開してきました。そして、これからもSDGsの考えを認識し、自社のコア技術を活かして社会課題の解決に取り組み、新たな価値を創造していきます。



代表取締役社長

古野幸男

